

## 世の中バランスとタイミング、そして強い気持ち 校長 宅島 健司

先月号の続きになるが、東京大学に合格した生徒と一緒に国語の添削をしていた生徒も、志望校である一橋大学に合格した。その生徒は理系頭と言っていいほど理系教科は強かったが、国語・英語は今一歩であった。東大志望の生徒と一緒に添削を受けることによって自然と徐々に国語の成績を伸ばしていた。

突然であるが、部活動だろうと学力向上であろうと、自分の力を伸ばす一番の方法はこの人には絶対負けたくないという身近なライバルをつくることである。部活動なら同じチーム内に。自分が一番の選手ならよく練習試合をする相手校の中に。学力向上なら同じクラスに。ライバルにできることを想定できるなら他のクラスに。よく顔を合わせ、その様子を見ることができるといのが肝心である。その人に負けたくないとか、その人に勝ちたいという人の意識や気持ちは、その人を努力に向かわせる大きな力がある。

その生徒たちの学年に、もう一人成績優秀な生徒がいた。その生徒も対外実力テストや模試で県内トップを取ったことがあった。授業も試験も淡々と受けていたことを覚えている。その生徒は吹奏楽部に属しており、吹奏楽の強いある大学を志望校にしていた。通常合格することは難しい大学ではあるが、その生徒なら3年生1学期の成績で受験しても、間違いなく合格すると先生方で話をしていただき、本人にも伝えた。理系であったその生徒の将来の展望を考えれば、東大に挑戦してほしいと、何度も話をし、学年や担任から話をしてもらった。頑として聞き入れなかったが、秋の東大模試は受験してくれた。それでも、志望校を変えることはなかった。

大学入試センター試験は、その生徒も900点満点中800点越えであった。センター試験後の出願校を決定する段階で、その生徒は前期東大を受験することを決めた。特別編成授業で一番多い受講科目をこなさなければならない中、放課後一日おきに国語の添削を行った。東大の問題に慣れてもらうことが目的であり、理系国語の合格最低点は上回る実力を十分持ち合わせていた。後日談であるが、数学・理科で結果が思い通りにいかなかった。本人の得意科目であるが、東大の問題に慣れていないこと、問題に対応するために必要な知識をつけることが間に合わなかったのだろうと思う。思考力は十分持ち合わせていた。理系は数Ⅲ、物理・化学・生物と学習範囲を終了するまで3年生の10月まで、少し遅れると11月までかかる科目が多くある。現役生はそこから勝負である。理系の生徒、心せよ。文系生徒は、地歴・公民の仕上げを心せよ。

その生徒が不合格を知らせに成績開示の票をもって進路室を訪れた。合格最低点と0.7の差であった。その生徒は私と学年主任に向かって「期待していただいたのに、合格できませんでした。すみません。」と言った。学年主任が「そがん言うなさ、こちらこそお前を合格させきらんで、本当にすまなかった。」と言いながら、二人とも目から涙が溢れ出てきた。人生で「～たら、～れば」はないことは十分承知しているが、もしその生徒がせめて一月前に東大受験を決めていたら、合格していただろうと思う。大学入試は1点を争うと言われる。一点どころか0コンマの世界の争いとなる。その生徒は後期試験で、ある難関大学に合格した。世の中はバランスとタイミングが大事である。人生と世の中は、バランスとタイミングによって左右される。

東大文1に合格した生徒は、2次試験の1日目、ある科目で失敗したと感じた。受験場や宿泊したホテルで他の東大受験生が話をしているのを聞くにつけ、「絶対負けたくない、絶対合格してやる」と思い、試験1日目の夜もいつもと変わらず懸命に学習したということである。その強い気持ちが彼を合格させたのだと思う。

現役生は、大学受験のその試験時間の終わる瞬間まで伸び続ける。

## 校内読書週間・県高校総合文化祭【図書部門】ライブラリーフェスティバル県大会

第72回全国読書週間

の一環として、11月6日～12日、校内読書週間を開催しました。期間中の昼休みに雑誌付録抽選会・古雑誌頒布会を行い、LHRでは1年生の読書体験記・読書感想文の発表(放送部による朗読)、恒例の標語コンクールを行いました。今年度の優秀標語は、以下の通りです。

- ・最優秀賞 2-3 中尾 優花 「本読んで 旅に出かける 10分間」
- ・優秀賞 3-7 前田 祐成 「まだなのか 次巻 気になる『つづく』の字」
- ・優良賞 3-4 岡 祐里 「心打つ 言葉は めくると すぐそこに」

第15回ライブラリーフェスティバル県大会は11月8日に開催され、1・2年生の図書委員が2名ずつ参加しました。「ライブラリーナビを作ろう」「広報誌

の書き方」などの分科会に参加し、各校の図書委員との交流を深めました。広報誌コンクールでは、2年生の図書委員が作成した「Library News」が優良賞(3位相当)を受賞しました。

(図書視聴覚部)



## 保健講話 11月15日、歯科保健講話を実施しました。

本校学校歯科医 松添裕之先生をお招きし「思想としての8020 ～輝く笑顔のために～」というテーマでお話いただきました。松添先生には、むし歯や歯肉炎などのお話はもちろんですが、「歯と口の健康」がどれだけ全身の健康に影響を及ぼすのか、生活の質の向上に関わってくるのかを分かりやすくお話いただきました。以下に、生徒の感想を一部紹介します。

○今日の講話を聞いて改めて歯は大事なものだと思いました。歯がないと他の病気になったりするので普段から気をつけておく必要があるのです。80歳で20本以上歯があると色々なことが楽しくなって、歯がない人より、お年寄りになった時に充実した時間を過ごせると思いました。

○毎日、丁寧に歯みがきをしていれば、80歳で20本の歯を残せると思っていたけれど、自分で対策をしなければならぬことを知りました。かかりつけ医を持ち、定期的に診察してもらって歯周病や歯周炎で困ることのないようにしたいと思いました。

○私の祖父母は80歳以上ですが、20本以上の歯があります。歯があるとないとでは元気が違うなど、健康に関する話を話されていましたが、私はとても納得しました。私の祖父母は毎日元気に過ごしているのでやっぱり歯は大切なのだと思いました。

(保健相談部)



## マラソン大会のお知らせ 1月22日(火)(※雨天時は23日(水))に、第25回校内マラソン大会が行われます。

佐世保市椎木町の総合グラウンド陸上競技場を発着とし、その周辺のコースで行われます。1・2年生の日頃の練習の成果を発揮する舞台として、全員出走・完走を目標に頑張ってもらいたいと思います。昨年度からサーキットトレーニングを導入することで、それぞれが理想の体、理想の体調を手に入れることを考えて授業を進めてきました。マラソン大会を機に継続して自分の体に目を向ける習慣を身につけてもらいたいと考えております。保護者の皆様方の応援・参加(少数可)等のご協力をよろしくお願いいたします。

- ※ スタート時間 女子 10:10(6km)、男子 11:40(10km)
- ※ 正課体育時の服装、グラウンドシューズ(原則、競技中は夏の服装)
- ※ 競技場への集合は、制服です。
- ※ 不規則な生活に注意し、持久力低下にならない体作りをご指導ください。(体育科)



**育友会研修旅行** 11月6日に育友会の研修旅行に行ってきました。参加者は保護者29名、学校職員1名の計30名でした。朝8時頃に大型バスで西高を出発し、初めに向かったのは佐賀の「多久聖廟」です。学問の神様でもある孔子像が安置されており、旅行者一同で子ども達の学業成就を祈願してきました。色づき始めた紅葉を横にたたく聖廟が、どこか異国の空気を醸していたのがとても印象的でした。その後、製菓会社の工場を見学し、日本酒の試飲に舌鼓を打ちました。道中「多久市ウォールアートプロジェクト」による壁画を拝観し、アパホテルでランチを楽しみました。幕末維新館では、激動の時代を生き明治新政府で活躍した佐賀の賢人達の想いに触れ、「教育」の大切さを改めて認識させられました。最後に「シチメンソウ」を見に行きました。台風等の影響もあり満開の紅葉とはいきませんでした。一望のもとに収められた景色には胸を打たれるものがありました。バスの中ではビンゴゲームなど、笑いの絶えない時間を過ごしました。夕方6時頃の到着で、楽しい一日はあっという間に過ぎていきました。

(事務室)

**佐世保地区公立高校PTA研修会** メインテーマ：「社会の変化と家庭や学校のこれから」、サブテーマ：『「リスク到来社会」を乗り切るために』のもと、平成30年度佐世保地区公立高等学校PTA研修会が、11月17日(土)の午後、佐世保市体育文化館コミュニティーセンターの5階ホールにて行われました。

佐世保商業高校育友会では、テーマ：「日本一の佐商生」のもと、PTA新聞「さくら坂」の発行や奉仕活動などの独自の取組みの他、体育祭・文化祭や校内マラソン大会など学校行事への参加について、今後とも積極的な関わりをもち、学校と家庭が密接に連携・協働し、学校を支えていきたいとの報告がありました。佐世保中央高校夜間部PTAは、テーマ：「つくる・つなぐ・つむぐ 新生佐世保中央夜間部PTA ～子どもを見守り、ともに歩む～」のもと、一年間の活動報告がありました。特に、就職希望者向けのPET面接(Pは保護者、Eは雇用主、Tは先生方)に関する報告の中で、この三者が面接官となり、入社試験本番さながらの面接練習に協力することで、学校と家庭が密接に連携することで、生徒への効果も大きいとの内容に、私たちも考えさせられました。

講演会では、長崎県民生活部食品安全・消費生活課啓発相談班の青崎先生が、『「リスク到来社会」を乗り切るために～親子で防ごう！消費者トラブル～』の演題でお話をされました。SNSによる個人情報公開など、子どもたちが経験している消費者トラブルの例を具体的に挙げながら、トラブルの防止や心構えなど、家庭や学校の役割について考えることの重要性を述べられました。

研修会に参加していただいた保護者の方々に感謝申し上げますとともに、まだ参加されたことのない保護者の方は、来年度もこの時期にありますので、是非参加いただきますよう、よろしくをお願いします。(教務部)

**人権学習** 『「本当の私を見て」～全国統一応募用紙の変遷から、守られるべき人権とは何かを学ぶ～』をテーマに、2、3年生は12月6日(木)、1年生は12月13日(木)のLHRを使って実施しました。

全国統一応募用紙は、1973年から使われ始め、高校生が企業に就職する際に提出する全国で統一された履歴書で、何度か改訂を重ね現在も使われています。企業は求職者の個人情報のうち「人種、民族、社会的身分、門地、出生地その他社会的差別の原因となるおそれのある事項」や「思想及び信条」を書面や面接で収集してはならない(職業安定法)とされています。ワークショップを通じ、生徒は最新の応募用紙を見ても、まだ記入項目を削除や変更ができるのではないかと意識の高さを見せていました。

今後も人権を守るためのさまざまな取り組みを通じて、生徒の人権意識の醸成につとめてまいります。(研修部)

**主な試合等の結果**

**<ハンドボール部>**

○平成30年度第12回こころ医療福祉専門学校杯長崎県高等学校男女ハンドボール選手権大会

**女子 優勝 男子 第2位**



**<美術部>**

○第63回長崎県美術展覧会 デザイン部門 入選 吉村 遥華(大野中)

○平成30年全国地域安全運動における防犯ポスターコンクール 優秀賞 諫山 みのり(祇園中)

○平成31年度愛鳥週間ポスター 優良賞 小畑 香菜子(清水中)



**<書道部>**

○平成30年度第17回長崎県高等学校文化連盟書道部門大会揮毫大会

優秀賞 浦川 優香、供田 真紀子、福田 靖子、前田 朋佳、森山 花帆、山下 栄理

渡邊 優月、佐多 友香、平野 友梨

○第63回長崎県美術展覧会 書の部門 入選 浦川 優香(祇園中)



**<写真部>**

○長崎県民の森開演50周年記念フォトコンテスト

ひと部門 奨励賞 廣川 京香(三川内中)

○第14回度長崎県高等学校文化連盟第14回県写真展 **優秀賞 田中 港(大野中) (次年度九州大会)**

**<英語部>**

○第11回長崎外語大学英语ボキャブラリーコンテスト

**優勝 三木 亮太朗(御厨中)、松延 崇平(今福中)、北村 亜依香(平戸中)**

**<美術関係>**

○平成30年度佐世保市明るい選挙啓発ポスター作品募集

入選：梅崎 健史、白川 政宏、永田 柚衣、西田 愛香里

佳作：赤木 駿介、吉原 岬希、本山 琴菜、松田 采弓



**《1月の行事予定》**

3日	(木)	3年プレテスト(～4日)
5日	(土)	3年冬季講座、生徒会サミット
7日	(月)	3年冬季講座
8日	(火)	授業再開日、冬季実力テスト(1・2年)
9日	(水)	冬季実力テスト(2年)
10日	(木)	百人一首大会(1年)
12日	(土)	土曜講座(3年)、小論文セミナー(1・2年)
16日	(水)	月曜日の授業
17日	(木)	デートDV講話(2年)
19日	(土)	大学入試センター試験(3年)、進研記述(1・2年)
20日	(日)	大学入試センター試験(3年)、進研記述(2年)、県吹奏楽祭(東彼杵町総合会館)
22日	(火)	校内マラソン大会(相浦)*予備日23日(水)
24日	(木)	性教育講話(1年)
27日	(日)	英検1次、3年三者面談(～29日)
31日	(木)	「梅屋庄吉と孫文」講演会(1・2年 7校時)、1・2年生式歌練習(6校時)